

在宅療養・介護施設における感染対策とスキンケア

2023年9月27日

九州労災病院

皮膚・排泄ケア特定認定看護師 杉本 美由紀

講演発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません

自己紹介



皮膚・排泄ケアCNは2名で活動

W...創傷ケア

O...ストーマケア

C...失禁ケア



テープ剥離時の皮膚損傷



ストーマ創、手術創



スキンテア



褥瘡



機能の低下した皮膚

皮膚の老化



表皮の菲薄化
角質層の増殖
汗や皮脂の減少
張力低下
皮下脂肪の減少
脆弱化
セラミド合成減少

ドライスキン



角質水分量が減少し、
皮膚の表面がひび
割れて角質層のバリ
ア機能が破綻してい
る状態。

浸軟



外からの水分を吸収
して角質細胞内の水
分量が増加し、角質
層の構造が緩んでい
る状態。

スキンケアの3原則

スキンケアの種類

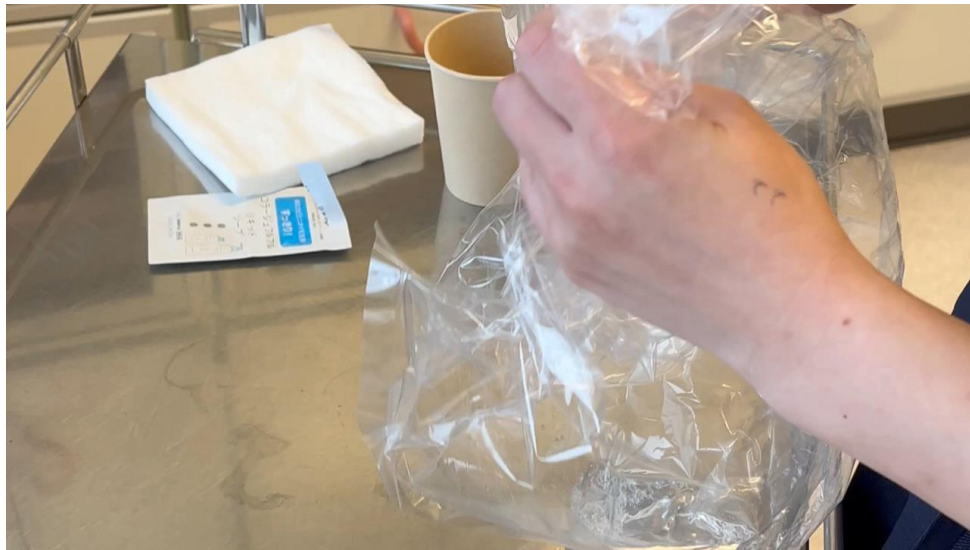
- ・予防的スキンケア
- ・治療的スキンケア

日頃からの予防的スキンケアが重要



泡洗浄のコツ

- 液状の洗浄剤



- 固形の洗浄剤

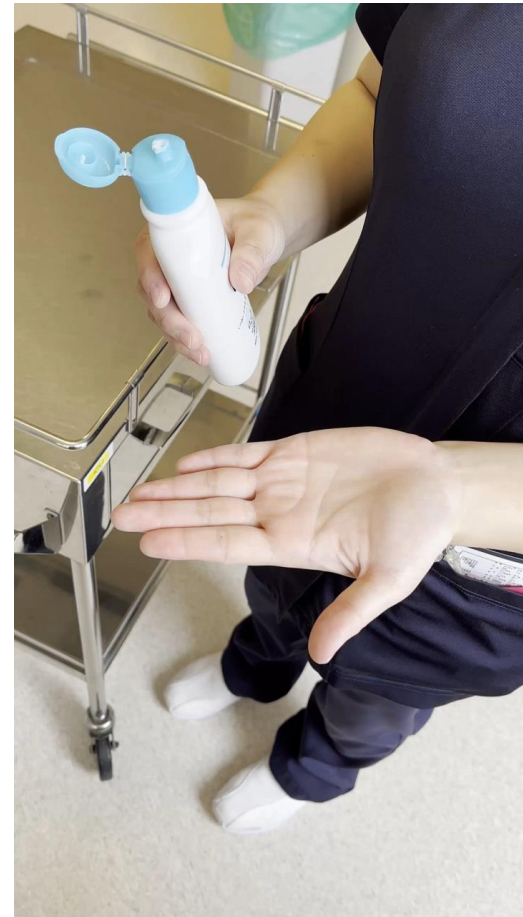


保湿剤塗布のコツ

手の平2枚分の面積に必要な保湿剤の量

1FTU=約0.5g(人差し指の先から第1関節)

1円玉大=0.5g

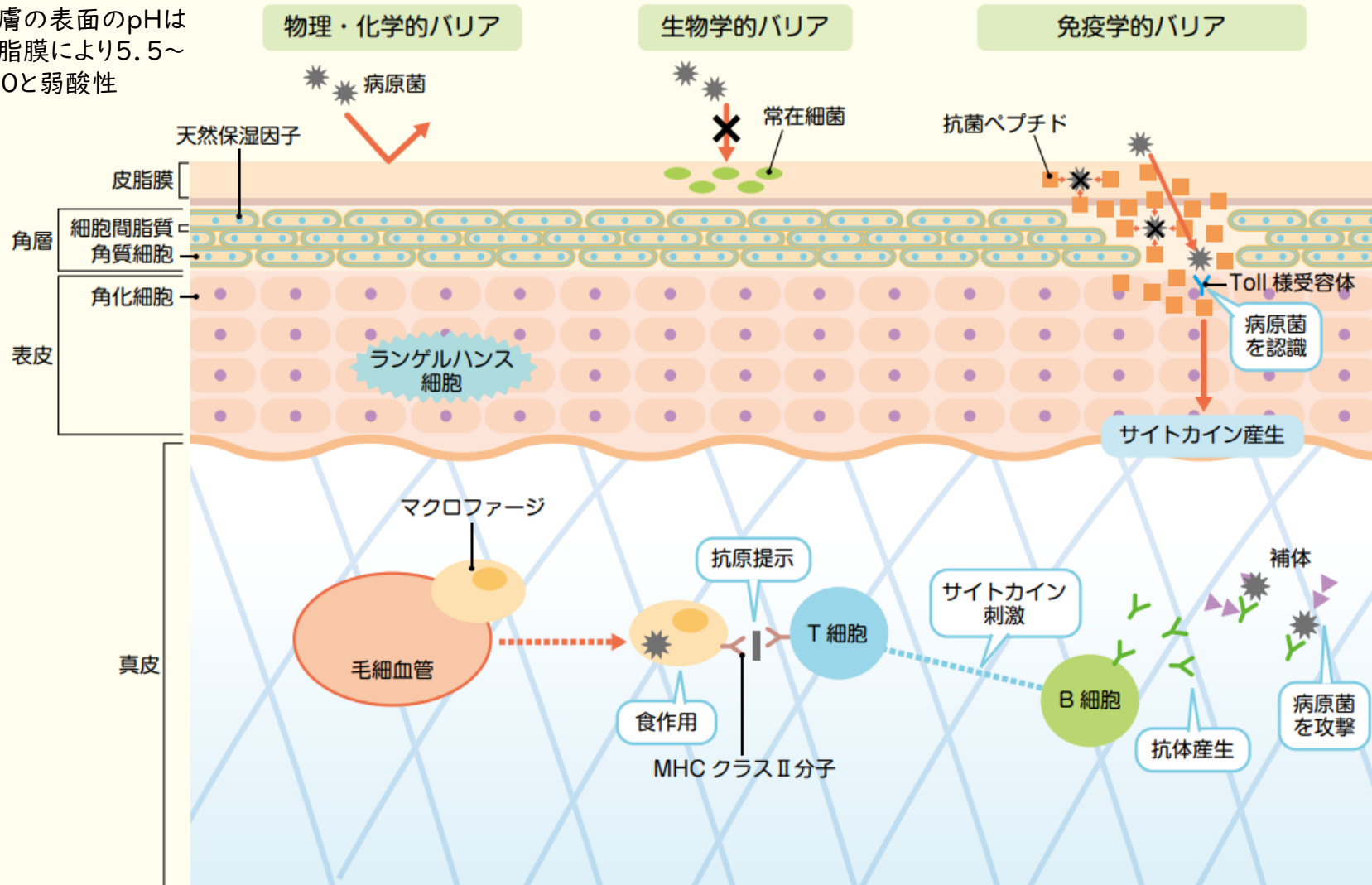


医療者の予防的スキンケアの背景

- 手指は感染症の伝播の主要な経路の一つである
- **バリア機能**が低下した手指は菌の温床となりやすく、患者へのケアで感染症を広めるリスクとなる
- 人の皮膚には常在菌と呼ばれる微生物が存在し、皮膚の健康を保つ一環として重要な役割をはたしているが、皮膚の**バリア機能**が低下すると無害な常在菌も感染症を引き起こす可能性を含んでいる カンジダやマラセチア…

皮膚のバリア機能

皮膚の表面のpHは
皮脂膜により5.5~
7.0と弱酸性



バリア機能の低下による皮膚トラブル

- 乾燥や手荒れ（ひび・あかぎれ）
 - 頻繁な手洗いやアルコール消毒によって皮脂膜が洗い流される
 - 高い温度で洗い流すことで保湿因子が溶解する
 - 皮膚のpHがバランスを崩す
 - 不適切な水分の拭き取り
- アレルギー反応
 - 洗剤や保湿剤に含まれる成分に反応する
- 爪で傷つける

痛みやかゆみによる苦痛は
手指衛生の実行が困難となる

ハンドケアの提案

- 医療者の不適切な手指衛生による患者への影響を最小限にするためには、季節や場面別のハンドケアを実践し、手洗いや消毒を継続する
- 患者や利用者に直接ケアを頻繁に行う職種に関しては持続可能な方法を検討する必要がある
- ハンドケアを含めた手指衛生方法の定着

洗淨

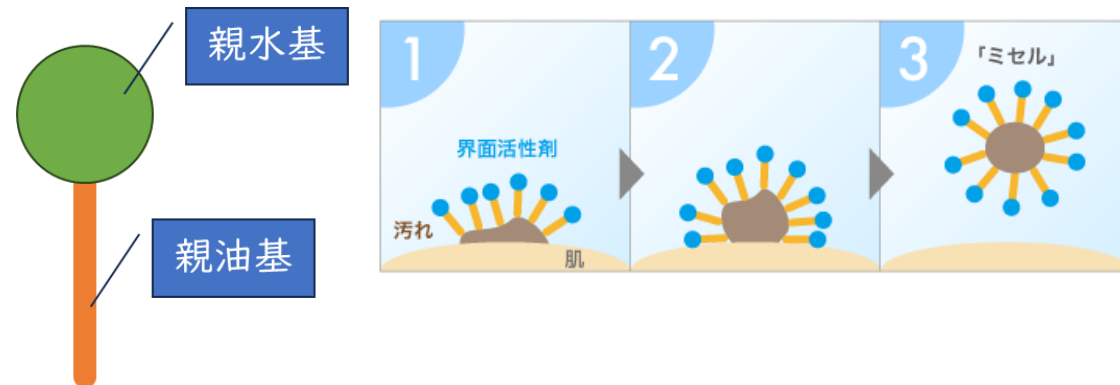
• 洗淨の意義

- 汗や皮脂などの皮膚付属器からなる皮膚の垢を、洗淨剤を用いて洗い流すこと。
- 皮膚表面に付着した雑菌や汚れ、雑菌の繁殖する場を取り除き、皮膚を衛生的に保つ。

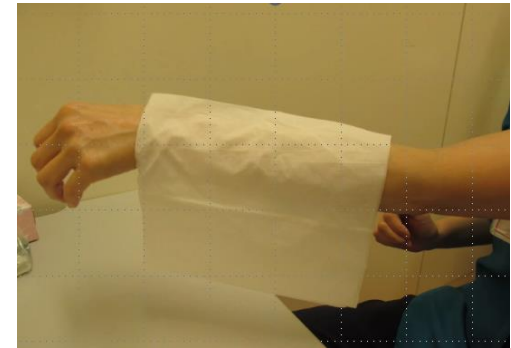


洗淨剤の特性

洗淨のメカニズム

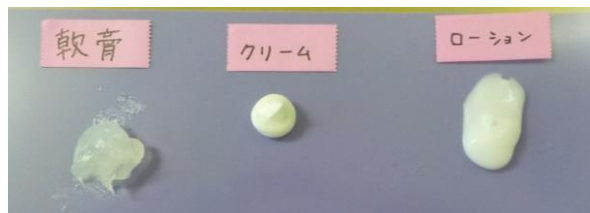


保湿

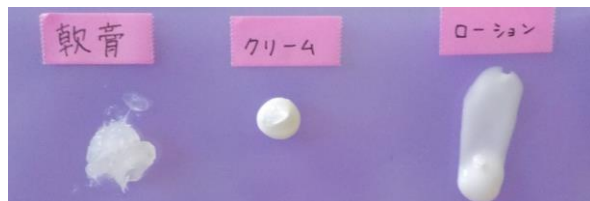


• 保湿の意義

- 体外からの異物が体内に入ること防ぐとともに、体内の水分を失わないために内部に保持する
- 皮膚のバリアを補完し、皮膚に必要な水分を保持する

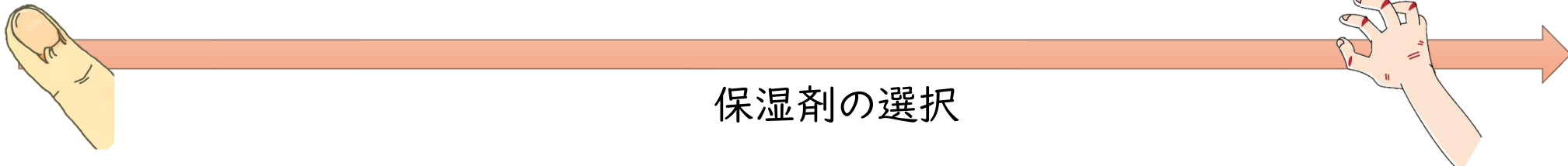


ローションが一番伸びが良い



	特性
クリームタイプ	<ul style="list-style-type: none">・べたつきが少なく使用感が良い・浸透性が高く、水で洗い流せる
ローションタイプ	<ul style="list-style-type: none">・伸びが良く脆弱な皮膚へも負担をかけずに塗ることができる・体毛がある部位にも塗ることができる効果時間が短め
軟膏	<ul style="list-style-type: none">・撥水作用により角層の水分を閉じ込めて覆うことで皮膚を保護する・べたつきがあり、洗い流しにくい・冬場は硬くなるため、手のひらで温めるなどして塗るときの摩擦を軽減させる

ハンドケア剤を使用した保湿



保湿剤 (humectant)

皮膚に水分を与え、乾燥を防止する目的で用いる吸水性の高い水溶性の物質

柔軟剤 (emollient)

皮膚上に残存し、油性感、保湿感や柔軟感を付与する目的で使用される

保湿剤	長所	短所	その他の特徴
油脂性軟膏 白色ワセリン プロペト® 親水軟膏 アズノール®軟膏 など	•刺激が少ない •効果が長く続く	てかりやべとつき感が好まれないことがある	入浴直後など、皮膚が水分を多く含んでいるときに塗るのが効果的
尿素製剤 ケラチナミン® ウレパール® バスタロン® など	•保湿効果が高い •使用感がよい	皮膚炎やかき傷に塗ると、しみるなどの刺激感がでる場合がある	角質を軟らかくする作用もある
ヘパリン類似物質製剤 ヒルドイド® ビーソフテン® など	•保湿効果が高い •使用感がよい •刺激が少ない	血行促進作用もあるため、塗布後に皮膚の赤みが一時的に増すことがある	塗り伸ばしやすいローションやスプレーの処方が可能

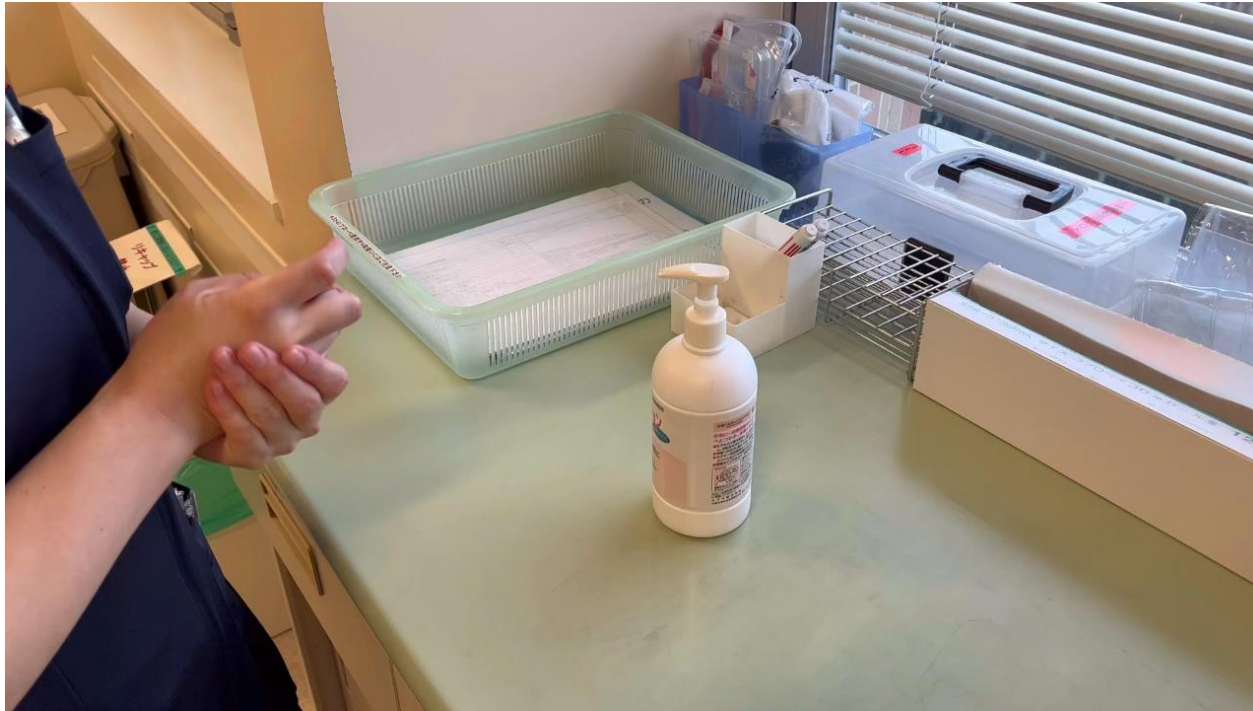
撥水による保護

• 保護の意義

- 皮膚のふやけ(浸軟)を予防し、汗・尿・便などの排泄物が皮膚に付着することによる刺激を最小限にできる。
- おむつかぶれの予防(失禁関連皮膚炎:IAD)

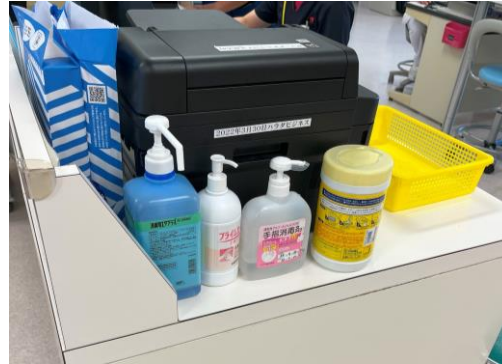
	特徴
撥水性オイル	シリコン入りオイルで皮膚に撥水の膜を作り、保湿しながら保護する
撥水性ジェル	撥水性の高い皮膜を作り、保湿しながら撥水性を発揮する
撥水性クリーム	PH緩衝能があるものや保湿成分が配合されているものがある
非アルコール性皮膚皮膜剤	スプレータイプやワイプタイプがあり、各社の特徴が様々で種類が豊富

ハンドケアの実際



- ◆ 洗浄の度に念入りなケアは困難であるため、休憩や一息つくときに丁寧な保湿ケアをこころがける
- ◆ 保湿の効果を最大限に得るため効果的な塗り方をマスターする

ハンドケアの実際



- 病院や施設では手洗いポスターとハンドケアポスターの両方を掲示する
- ハンドケアを取り入れた手指衛生の教育や指導を行う
- 個人のセルフケアに合わせたハンドケア方法を職場でも継続する

まとめ

- 手荒れに伴う痛みなどが起きないように予防的スキンケアは必須である
- 予防的スキンケアを取り入れた手指衛生の一連を啓蒙する
- 持続可能なハンドケア方法を検討する

引用文献・参考文献

1. WOC Nursing 2016年 Vol 1.4 No9 医学出版
2. スキンケアガイドブック 2017年5月 日本創傷・オストミー・失禁管理学会 照林社
3. スキントラブルパーフェクトガイド 2013年7月 内藤亜由美・安部正敏 学研メディカル

ご清聴ありがとうございました

